

総務政策委員会行政視察報告

◆ 千葉県いすみ市

【日 時】 令和6年10月30日（水） 13:15～14:30

【会 場】 千葉県いすみ市役所

いすみ市立大原中学校

【内 容】 「避難所に対する移動式エアコンの配備について」

【説明者】 危機管理課 課長 伊藤 洋之

危機管理課 課長補佐 吉清 丈司

議会事務局 局長 杉浦 桂樹

1 市の概要

令和6年4月1日現在 人口：35,075人 世帯数：16,931世帯

2 視察の目的

本市が大規模災害に見舞われた場合、多人数が避難可能な体育館等が避難所として開設されることが見込まれているが、そもそも体育館にはエアコンの設備がなく避難所の温度調整ができない状況である。すでに「移送式エアコン」を導入して運用しているいすみ市の事例を学び、本市の参考とするため。

3 視察（説明）要旨

いすみ市役所庁舎において、担当者から「移動式エアコン」の概要等の説明を受け、質疑応答を行った。座学終了後、近隣の中学校（避難所）に移動し、「移動式エアコン」の導入状況を視察し、送風状況等を確認した。

4 主な質疑応答

Q(1) 移動式エアコン導入にかかる経緯について

以前より議会において災害避難施設における空調設備の導入に関する議論がされてきたが、多額の設置費用が想定されることから導入に対し慎重であった。しかし令和元年9月から10月のまだ残暑の厳しい中で発生した台風により市内において長期間の停電が発生し、場所によっては最長10日間の停電を経験したことがあり、その際市民の方から暑いとの声があり、市においても空調設備を導入してはどうかとの検討していた。またそれと同時期にB & G財団が実施する補助事業があったことと、比較的安価な移動式エアコンが見つかったことにより導入に踏み切った。

Q(2) 導入時期について

令和4年8月

Q(3) 設置場所について

災害時の避難場所と設定されているいすみ市内の中学校（3校）の体育館

Q(4) 設置台数について

15台（各中学校に5台ずつ）

Q(5) 予算規模について

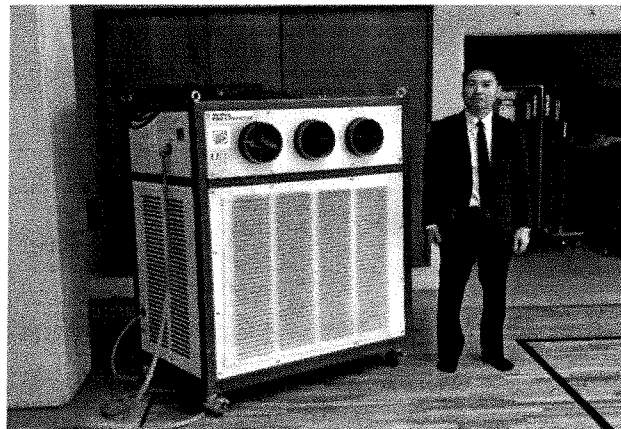
イニシャルコスト：¥1,540,000(1台)×15台 合計 ¥23,100,000

Q(6) 移動式エアコンの仕様について

ア 送風能力：18m先まで送風が可能

イ 冷却能力：5台を用い体育館（1,200㎡）が冷却可能

ウ 大きさ：1,200×740×1332



エ 電力及び電気代 単層200V ¥70/h

オ 暖房機能：暖房機能はあるがまだ使ったことがない

カ 排風方法：後部にプラスチックパネルを設置し上に温風を送り、体育館上部に設置の換気扇で外に送風

Q(7) 使用に係るルールについて

ア 非常時に係る使い方：避難時における施設の冷却に使用

イ 平時における使い方：学校の授業時間に使用

Q(8) 常時避難場所に設置してあるのか

常時体育館倉庫にて保管し、使用時に移動

Q(9) 運用の結果、市民の反応（評判）について

災害時においてはこれまで1回しか使用したことがないが、暑い等の苦情はなかった。また普段授業等で使っている学生に対して好評である。

Q(10) その他

災害時における移動式エアコン15台分の電力確保のため非常用の小型発電機10台を購入済みである。また、他自治体においても好評であり、静岡県内の自治体においては230台購入予定となっている。

5 所 感

気候変動に伴う激甚災害が多発する中で、多くの自治体において体育館のエアコン設置を検討しているが、体育館の改築及び設置費用が高額となることからエアコン設置に慎重になっている。しかし、今回いすみ市で使われている移動式エアコンは価格が安価に抑えられる他、機械の移動が可能であり、災害時だけでなく様々な場面での用途が考えられる。またメンテナンスにおいても前部のフィルターを定期的に交換することだけであり、これまで購入後 2 年あまり経つが問題が発生していないことから、米子市においても移動式エアコンの導入に対する検討をすべきと考える。これらのことから今回の視察は米子市にとっても模範とすべき先行事例となった。

◆ 東京都調布市

【日 時】 令和 6 年 10 月 31 日（木） 10:00～11:30

【会 場】 調布市役所 4F

【内 容】 「e スポーツによる地域活性化について」

【説明者】 行政経営部 企画経営課 産学官連携担当課長 村岡 佳太

行政経営部 企画経営課 副主幹 山田敦子

1 市の概要

令和 6 年 4 月 1 日現在 人口：239,247 人 世帯数：124,148 世帯

2 視察の目的

e スポーツ(※)を利用することによって、どのような地域や年齢階層を対象とし、どのような実績を得たのかを知ることにより、本市の政策に反映することを目的とした。

(※)e スポーツとは、スポーツの一つの分野。相手と対戦することや記録を伸ばすことを、デジタル機器を使って行うもの。(調布市の担当者による定義)

3 視察（説明）要旨

(1) 対象者について

世代、性別、地域、障がいの有無などのあらゆる垣根を超えたあらゆる市民を対象とした。場所は、市内の施設とし、施設内および施設間での交流として行われた。同時に、市内にある電気通信大学と連携して、移動型・円筒形太陽光発電設備を開発し、あらゆる場所での e スポーツの電源として実証を行った。

(2) 実績について

こども世代に対してはプログラミング教室を、障がいのある方に対しては障がい者 e スポーツ体験会等を実施し、好評であった。特に、障がいのある方同士の交流は、施設内の行事等ではなかなか盛んとはならないが、e スポーツは人同士の垣根をすぐに超えることができるというメリットが大きいツールであった。また、本施策は「市民の交流機会を創出することで市民の生活の質や幸福度の向上を目指すとともに、市域のにぎわい創出につな

げる」という目的であることから、福祉が増進することによって生じる数値的な目標は無く、すなわち財政に及ぼす影響としての実績は測定していない。

4 主な質疑応答

Q(1) e スポーツに対する 3,700 万円の予算の概要について

人件費および機材費が主である。プログラミング時は生徒 2 人に教師 1 人という格好になるので、大半が人件費である。ゲームタイトルを使用する場合、その権利に対しても、費用がかかる。機材費としては、ゲーム機本体とモニター代である。

Q(2) 今後の展開について

e スポーツに対する職員の感度が全庁的に高い。現在は、単なるゲームという領域から昇華すべく、そのノウハウを得ている段階である。

Q(3) 各施設による自主的な運営(自走化)に向けた準備について

施設によって差異があるが、徐々に自走化が始まっており各施設でのセッティングが出来るようになり、また、施設間での連携も行われている。次年度以降としては、行政としては伴走支援という立場を想定している。

Q(4) 財政効果について

交流機会の増進については、効果が表れた。職員と利用者、利用者と利用者との交流ができるツールとしては価値があった。利用者の笑顔が増えた。ただし、そのような効果は当初から想定していないので数値としての実績はない。

Q(5) 新規で着手する場合の留意点について

運営するにはノウハウが必要である。自治体の職員だけでは成し得ないので、当初は事業者に頼らざるを得ないだろうが、その段階を経てノウハウを蓄積し自走化へと発展させていくことが良いと考える。

Q(6) 各施設からの要望について

資機材に限りがある。施設にあった資機材の確保が難しい。故に、どの施設でも使えるというわけではない。施設の職員にもノウハウを蓄積し、自走化に向けて努力しなければならない。伴走するにあたり、これが課題である。

5 視察の(説明)要旨に対する考え方及び本市に参考となる点

e スポーツというツールを行政課題の解決に利用するという考えは期待を抱かせるものではあるが、まだ黎明期であるという印象が強かった。調布市においては、この施策の中心的役割を担う N T T 東日本の研究所が同市に拠点を置いていたこと、同じく電気通信大学も同様であり、市内で産学官連携の素地が整っていた背景が奏功している。また、現時点では「幸福度の向上」、「生活の質の向上」といった目的までの設定であり、それを具現化するための(数値)目標が掲げられていない状況であった。e スポーツの市場は拡大の一途であることは容易に想定できることであり、その過程において、福祉の増進に大きく寄与するツールやアイデアが生まれた際に、速やかに取り入れるよう、今後も注視する必要を強く感じた。

【日 時】令和6年11月1日（金） 10:00～11:30

【会 場】前橋市役所 4F

桃井小学校（市役所隣接）

【内 容】「避難所となる公立学校施設の防災機能について」

【説明者】 総務部 防災危機管理課 課長 笹本光快

総務部 防災危機管理課 防災計画係 副参事（兼）防災計画係長 田嶋信也

総務部 防災危機管理課 危機管理係 主事 八木美織

1 市の概要

令和6年9月末現在 人口：329,281人 世帯数：156,826世帯

2 視察の目的

- (1) 指定避難所となる学校施設の利用方針と、各学区施設の防災機能について学ぶため。
- (2) 避難所開設から運営まで、行政と地域住民の連携と協力体制をどう構築していくか、米子市の取り組みの参考とするため。

3 視察（説明）要旨

(1) 前橋市の災害リスク

長年に亘る避難生活となる災害を経験していない地域であるが、大規模災害の発生はリスクデータによらない現実から、意識醸成に努めており、以下3つの災害を想定して防災に取り組んでいる。

ア 地震について

前橋市に3つの断層帯があるが、過去に大きな被害がなく安全神話ある。震度6以上の確立6.4%と低いと言われているが参考でしかない。

イ 風水害について

利根川ほか河川流域に想定最大規模降雨（群馬県1000年に一度といわれる400～600mmの豪雨が1～3日で降ること）を想定したハザードマップを作成。全戸配布している。北部では土砂災害を警戒。地域により想定されるリスクが違うので、地域別に情報収集や備えに取り組んでいる。

ウ 大雪について

平成26年2月。明治29年以降観測史上最大の降雪により、市民生活に大きな影響がでた。

(2) 避難所について

ア 避難所の概要

- ・ 指定避難所：市立小中学校67か所。災害の種別により一律の条件で開設するわけではない。受け入れきれないときは市有体育館等も開設し80か所となる。
- ・ 自主避難所：市民サービスセンターや公民館で受け入れる。
- ・ 福祉避難所：民間施設113か所を指定している。ホテル等宿泊業者との協定で避難生活を支える体制づくりを進めている。

イ 避難所開設

- ・年度初めに市の「避難所担当職員」2名指名。震度5以上で自動参集し開錠する。
- ・各部応援職員3名。学校用務技師1名。計6名が避難所開設準備にあたる。
- ・「避難所担当職員」は指名後、各学校に出向き、教職員と運営について共有(訓練)する。(4年程度で交代している)

ウ 備蓄

- ・各指定避難所に防災倉庫を配備し分散備蓄している。(施設内もしくはアルミ倉庫)
- ・食料(2600食、500ml×1300本の水)、簡易トイレ、便袋、ガスカセット式発電機、投光器、毛布、タオル、ブルーシート、避難所開設キット等の発災時の避難所開設に必要な備品を備えている。
- ※おむつ等の生活用品は必要時に吐き出せるよう別拠点に保管している。
- ※分散備蓄は管理・更新は手間がかかるも、初動対応の迅速化にメリットある。

(3) 市民との連携

- ア「避難所配置図」：自治会、学校、避難所担当職員、防災危機管理課職員等が連携し作成。
67か所すべてを2年間で作成した。大規模災害へ派遣された職員の体験や、熊本地震でのアンケートから作成に取り組んだ。配置図をもとに訓練を行う事例あり。(自治会の実働訓練。学校の理解が進み、児童生徒の防災教育の導入となっている)令和元年台風19号では、「避難所配置図」をもとに避難所開設した。
- イ「資機材の補助」：防災啓発活動の取組みとして「訓練」を行った自治会に、購入した資機材について上限8万円の補助をしている。毎年可能。(コロナ禍で落ち込んだものの、R5年度は、133/200自治会が実施)
- ウ 各自治会と協力し、地域オリジナルの自主避難計画を作成。
- エ 小学生に向けた防災教育(R5年度は29校に出向いた)
 - ・子ども向け「マイ・タイムライン」(県と協働で作成)
 - ・起震車の体験

4 主な質疑応答

Q(1) 各校に整備した備蓄倉庫について

学校の理解を得ることは特段難しくなかった。アルミの備蓄倉庫建設費に、一棟あたり約100万円。

Q(2) 学校施設配置図の作成について

学校側からは教頭や学校用務技師の関りがあった。

Q(3) 備蓄品について

各備蓄倉庫での食料備蓄は1日分。2日目以降でプッシュ支援があると想定している。個人として3日分の備蓄を啓発している。

Q(4) 備蓄倉庫の整備について

数年で整備した。H26の豪雪で市内の生活の麻痺から、取り組んだ。

Q(5) 防災機能の維持・向上について

市の財源で行う方針で取り組んでいる。

Q(6) 体育館の冷暖房について

R 6～7にかけて中学校のエアコン整備に向っている。発電については一律電気ではなく、ガスも検討している。

Q(7) 市民の防災意識について

R 5年に防災意識調査を実施した。年齢差があったが、市民の安全神話による市民の防災意識について行政が受け止めている以上の備えがある実態がわかった。(3日間の食料品備蓄は3～4割がされていた)

Q(8) 地震の被害想定について

地震による全半壊の想定が7.5%と低いのは、予想震度が高い地域は、田園が広がる人口密集エリアではないことが影響しているように推測している。

Q(9) 子どもへの啓発活動について

子どもへの啓発は小学校4年生を対象。起震車体験 + 各学校にあった内容としている。
教育の担い手は、防災危機管理課と防災アドバイザー(気象や消防のOB)

Q(10) 起震車について

起震車は市内のイベントでも体験でき、子どもへの再教育の機会となっている。

Q(11) 発電機用のカセットボンベについて

学校用務技師の下で、酷暑を避ける対策をとっている。

5 所 感

市民との連携について、大いに参考になった。指定避難所の開錠は、地震と風水害・大雪での動きが明確になっており、開設には市の職員「避難所担当者2名」と「応援職員3名」・「学校用務技師」と明確であった。教職員への負担を求めている危機管理の考え方は参考になる。

各指定避難所に分散備蓄した背景に、平成26年の豪雪で市民生活に多大な影響があったことや、大規模災害時の派遣職員の経験・熊本地震でのアンケート等を活かされていること。さらに、指定避難所の施設配置図や体育館配置図等が、地域に回覧され、施設にも掲示されており、実際に台風による避難において役立ったことから、米子市の取組みにつなげたい。

備蓄品の分散備蓄について、管理・更新に手間はかかるものの、初動対応の迅速化に大いにメリットとなるとして取り組まれていることに感銘を受けた。

総務政策委員会行政視察行程表

◎参加者10名〔委員9名〕塚田委員長、矢田貝副委員長、稲田委員、今城委員、大下委員、国頭委員、田村委員、土光委員、※岡田委員〔随員1名〕田淵
※岡田委員は、30日午後9時30分ごろ合流予定

◆田淵携帯 080-1903-0290

月 日	行 程	宿泊地 他
10/30 (水)	6時25分米子空港集合 7:25 8:45 9:25 9:44 9:51 9:58 11:00 12:12 12:13 12:15 13:05 13:15 米子空港 == 羽田空港/羽田空港第2 == 浜松町駅 ===== 東京駅 ===== 大原駅 ~ (昼食：源氏食堂) ~ いすみ市役所 ANA382 便 東京モノレール快速(浜松町行) JR 山手線内回り JR 特急わかしお7号(安房鴨川行) 徒歩2分 いすみ市送迎 ◎千葉県いすみ市行政視察 (午後1時15分ころから午後2時30分ころまで) 【議会事務局】山口氏 〔調査項目〕避難所に対する移動式エアコンの配備について 電話：0470-62-1406 ◆待ち合わせ時間 13:05 ◆場所 大原駅 14:30 14:40 14:45 16:04 16:21 16:35 16:38 17:01 17:06 17:11 17:13 17:18 市役所 == 大原駅 ===== 東京駅 ===== 新宿駅 ===== つつじが丘駅 ===== 布田駅 ===== ホテル いすみ市送迎 JR 特急わかしお(東京行) JR 中央・青梅線通勤快速(青梅行) 京王線快速 京王線(高尾山口行) 徒歩5分	(昼食) 源氏食堂 12:15 予約 0470-64-4646 (宿泊) 東横イン 調布京王線布田 (夕食・自由) 布田駅周辺
10/31 (木)	9時15分ホテルロビー集合 9:20 9:25 9:32 9:34 9:36 9:41 宿泊先ホテル == 布田駅 ===== 調布駅 == 調布市役所 徒歩5分 京王線(高幡不動行) 徒歩5分 ◎東京都調布市行政視察 (午前10時00分から午前11時30分ころまで) 【議会事務局】小牧氏 〔調査項目〕eスポーツによる地域活性化について(担当課：企画経営課) 電話：042-481-7291 ◆待ち合わせ時間 9:55 ◆場所 庁舎4F(議会堂) 11:30 12:35 12:45 13:03 13:10 13:23 13:40 14:27 15:08 15:22 15:25 15:26 調布市役所 ~ (昼食) ~ 調布駅 ===== 新宿駅 ===== 東京駅 ===== 高崎駅 ===== 前橋駅 ===== ホテル 徒歩5分 京王線特急(新宿行) JR 中央線快速(東京行) JR 新幹線とき323号(新潟行) JR 両毛線(小山行) 徒歩1分	(昼食) 11:45 予約 M's Kitchen 042-444-2185 (宿泊) 東横イン 前橋駅前 (夕食会) 17:00 予約 はなの舞 027-226-7033
11/1 (金)	9時25分ホテルロビー集合 9:30 9:40 宿泊先ホテル == 前橋市役所 タクシー ◎群馬県前橋市行政視察 (午前10時00分から午前11時30分ころまで) 【議会事務局】原島氏 〔調査項目〕避難所となる公立学校施設の防災機能について 電話：027-898-5923 ◆待ち合わせ時間 9:50 ◆場所 議会庁舎1F(4Fの議会事務局で受講予定) 11:30 11:40 13:05 13:20 13:41 14:28 14:47 14:54 15:05 15:20 18:10 19:35 前橋市役所 ===== 前橋駅(昼食) ===== 高崎駅 ===== 東京駅 ===== 品川駅 ===== 羽田空港第2ターミナル/羽田空港 == 米子空港 タクシー JR 両毛線(高崎行) JR 新幹線とき320号(東京行) JR 東海道本線(小田原行) 京急本線快特(羽田空港行) ANA387 便	(昼食) 葉香屋わ 11:50 予約 027-226-6822 前橋市南町3-3 5・3セキスイハ イムビル1F (夕食) 羽田空港内

総務政策委員会行政視察行程表

(岡田委員) 30日の公務(慰霊祭 14:00~15:00)後に出発

◆田渕携帯 080-1903-0290

月 日	行 程	宿泊地 他
10/30 (水)	<u>16時30分米子空港到着</u> 17:40 19:05 19:33 19:58 20:05 20:33 20:48 米子空港 == 羽田空港/羽田空港第2(B1) ===== 浜松町駅 ===== 新宿駅 ===== > ANA388 便 東京モノレール快速(浜松町行) JR 山手線外回り(品川・渋谷方面) 京王線急行(京王八王子行) 21:04 21:06 21:11 21:12 21:17 [ホテル] 東横イン調布京王線布田 ==== > つつじが丘駅 ===== 布田駅 ===== ホテル 東京都調布市布田 2-11-1 京王線(高幡不動行) 徒歩5分 Tel.042-490-1045 	(夕食) 米子空港内 (宿泊) 東横イン調布 京王線布田
10/31 (木)	<u>9時15分ホテルロビー集合</u> 9:20 9:25 9:32 9:34 9:36 9:41 宿泊先ホテル == 布田駅 == 調布駅 == 調布市役所 徒歩5分 京王線(高幡不動行) 徒歩5分 ◎東京都調布市行政視察 (午前10時00分から午前11時30分ころまで) 【議会事務局】小牧氏 [調査項目] eスポーツによる地域活性化について 電話: 042-481-7291 ◆待ち合わせ時間 9:55 ◆場所 庁舎4F(議会堂) 11:30 12:35 12:45 13:03 13:10 13:23 13:40 14:27 15:08 15:22 15:25 15:26 調布市役所 ~ (昼食) ~ 調布駅 == 新宿駅 == 東京駅 == 高崎駅 == 前橋駅 == ホテル 徒歩5分 京王線特急(新宿行) JR 中央線快速(東京行) JR 新幹線とき323号(新潟行) JR 両毛線(小山行) 徒歩1分	(昼食) 調布駅周辺 (宿泊) 東横イン 前橋駅前 (夕食会) 前橋駅周辺 17:00 予約
11/1 (金)	<u>9時25分ホテルロビー集合</u> 9:30 9:40 宿泊先ホテル == 前橋市役所 タクシー ◎群馬県前橋市行政視察 (午前10時00分から午前11時30分ころまで) 【議会事務局】原島氏 [調査項目] 避難所となる公立学校施設の防災機能について 電話: 027-898-5923 ◆待ち合わせ時間 9:50 ◆場所 議会庁舎1F(4Fの議会事務局で受講予定) 11:30 11:40 13:05 13:20 13:41 14:28 14:47 14:54 15:05 15:20 18:10 19:35 前橋市役所 == 前橋駅(昼食) == 高崎駅 == 東京駅 == 品川駅 == 羽田空港第2ターミナル/羽田空港 == 米子空港 タクシー JR 両毛線(高崎行) JR 新幹線とき320号(東京行) JR 東海道本線(小田原行) 京急本線快特(羽田空港行) ANA387 便	(昼食) 前橋駅周辺 (夕食) 羽田空港内

旅費計算表

令和6年10月30日 ～ 令和6年11月1日 (2泊3日)

千葉県いすみ市・東京都調布市・群馬県前橋市
総務政策委員会行政視察

月 日	区 間	鉄道路線名	運 賃	備 考	急 行 料 金		日 当	宿 泊 料	
					特 別	新 幹 線	議員1,500円 随 行 1,100円	甲 14,800円	乙 13,300円
10/30	米子空港～羽田空港	飛行機	39,890	往復スーパーバリュー-28			1,500	14,800	
(水)	羽田空港第1・第2ターミナル～浜松町駅	私鉄	520				1,100	10,900	
	浜松町駅～東京駅	JR	1,690	区間距離96.4km					
	東京駅～大原駅	JR							
	(用務)								
	大原駅～東京駅	JR	1,980						
	東京駅～新宿駅	JR							
	新宿駅～つつじヶ丘駅	私鉄	230						
	つつじヶ丘駅～布田駅	私鉄							
10/31	布田駅～調布駅	私鉄	140				1,500		13,300
(木)	(用務)						1,100		9,800
	調布駅～新宿駅	私鉄	280						
	新宿駅～東京駅	JR	1,980	区間距離105km					
	東京駅～高崎駅	JR				3,040			
	高崎駅～前橋駅	JR							
11/1	(用務)						1,500		
(金)	前橋駅～高崎駅	JR	1,980	区間距離105km			1,100		
	高崎駅～東京駅	JR				3,240			
	東京駅～品川駅	JR							
	品川駅～羽田空港第1・第2ターミナル	私鉄	330						
	羽田空港～米子空港	飛行機	※往復料金	往復スーパーバリュー-28					
計	議員旅費	87,900	49,020		0	6,280	4,500	14,800	13,300
	随行旅費	79,300	49,020		0	6,280	3,300	10,900	9,800

出席議員：塚田委員長、矢田貝副委員長、稲田委員、今城委員、大下委員、国頭委員、田村委員、土光委員

随行者：田淵

委 員 87,900 × 8名 = 703,200

随 行 79,300 × 1名 = 79,300

782,500

令和6年10月30日 ～ 令和6年11月1日（2泊3日）

月 日	区 間	鉄道路線名	運 賃	備 考	急 行 料 金		日 当	宿 泊	料
					特 別	新 幹 線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
							随 行 1,100円	10,900円	9,800円
10/30	米子空港～羽田空港	飛行機	39,890	往復スーパーバリュー-28			1,500	14,800	
(水)	羽田空港第1・第2ターミナル～浜松町駅	私鉄	520						
	浜松町駅～新宿駅	JR	210						
	新宿駅～つつじヶ丘駅	私鉄	230						
	つつじヶ丘駅～布田駅	私鉄							
10/31	布田駅～調布駅	私鉄	140				1,500		13,300
(木)	(用 務)								
	調布駅～新宿駅	私鉄	280						
	新宿駅～東京駅	JR	1,980						
	東京駅～高崎駅	JR		区間距離105km		3,040			
	高崎駅～前橋駅	JR							
11/1	(用 務)						1,500		
(金)	前橋駅～高崎駅	JR	1,980						
	高崎駅～東京駅	JR		区間距離105km		3,240			
	東京駅～品川駅	JR							
	品川駅～羽田空港第1・第2ターミナル	私鉄	330						
	羽田空港～米子空港	飛行機	※往復料金	往復スーパーバリュー-28					
計	議 員 旅 費	84,440	45,560		0	6,280	4,500	14,800	13,300
	随 行 旅 費								

出席議員：岡田委員

委 員 84,440 × 1名 = 84,440
84,440